

## 平成21年8月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年7月10日

上場取引所 大

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社  
 コード番号 2484 URL <http://yumenomachi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画グループマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 中村 利江  
 (氏名) 小島 一郎

TEL 03-5545-3843

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年8月期第3四半期の業績(平成20年9月1日～平成21年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	803	16.2	170	17.5	212	2.2	120	0.3
20年8月期第3四半期	691	21.1	206	33.6	216	33.0	120	24.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第3四半期	2,220.35	2,128.68
20年8月期第3四半期	2,248.58	2,105.95

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第3四半期	2,305	2,101	91.0	38,761.35
20年8月期	2,804	2,113	75.4	38,816.04

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 2,098百万円 20年8月期 2,113百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期				900.00	900.00
21年8月期 (予想)				1,100.00	1,100.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年8月期の業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,060	12.7	160	39.0	210	24.1	110	29.6	2,031.99

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有  
以外の変更 無

詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第3四半期	54,684株	20年8月期	54,444株
期末自己株式数	21年8月期第3四半期	540株	20年8月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年8月期第3四半期	54,116株	20年8月期第3四半期	53,589株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展などの影響で金融システム不安によって低迷していた国内株式市場が上昇するなど、一部で景気底入れの兆しが見えてまいりました。しかしながら、依然として可処分所得の減少傾向が続き、個人消費は低迷しております。

このようななかで、当社の属する外食、小売業界においても、事業環境は厳しさを増し、当社は新規店舗及び新規利用者の獲得を推し進めましたが、オーダー数の増加のペースは想定を下回るものとなりました。また、広告市場においては、企業からの広告出稿意欲の減退により、当社の広告販売につきましても苦戦を強いられました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は803,422千円（前年同期比16.2%増）、経常利益は212,207千円（前年同期比2.2%減）、四半期純利益は120,156千円（前年同期比0.3%減）となりました。

事業部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)		増減		前事業年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)	金額(千円)	構成比(%)
出前館事業	655,897	94.8	784,801	97.7	128,904	19.7	891,416	94.8
広告代理事業	11,639	1.7	4,233	0.5	△7,406	△63.6	15,083	1.6
駆けつけ館事業	24,074	3.5	14,387	1.8	△9,686	△40.2	34,028	3.6
合計	691,611	100.0	803,422	100.0	111,811	16.2	940,528	100.0

## &lt;出前館事業&gt;

出前館事業では、当第3四半期会計期間末における会員数は約252万人、加盟店舗数は8,800店舗、当第3四半期会計期間におけるオーダー数は約149万件となり、着実に会員数、加盟店舗数を増加させております。また、加盟店に対しての販促提案も引き続き積極的に行いました。

以上の結果、出前館事業の売上高は784,801千円（前年同期比19.7%増）となりました。

## &lt;広告代理事業&gt;

宅配時の販促物配布代行サービスでは、収益性の高い広告販売中心の運営をした結果、広告代理事業の売上高は4,233千円（前年同期比63.6%減）となりました。

## &lt;駆けつけ館事業&gt;

駆けつけ館事業におきましては、専任のスタッフを配置し、着実な加盟店開発を行うとともに、事業戦略の見直しを踏まえた検証を行いました。

以上の結果、売上高は14,387千円（前年同期比40.2%減）となりました。

(注) 当事業年度より新たに四半期会計基準等が適用となったことから、前年同期とは適用される会計基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は、参考として記載しております。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末比550,603千円減少し、1,170,926千円となりました。減少の主要因は、現金及び預金が598,059千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末比51,778千円増加し、1,134,846千円となりました。増加の主要因は、長期性預金が200,000千円減少したものの、投資有価証券が198,050千円及び繰延税金資産が40,287千円それぞれ増加したことによるものであります。

以上により総資産残高は、前事業年度末比498,824千円減少し、2,305,772千円となりました。

負債残高は前事業年度末比487,026千円減少し、204,270千円となりました。減少の主要因は、未払金が480,927千円減少したことによるものであります。

純資産残高は前事業年度末比11,798千円減少し、2,101,502千円となりました。減少の主な要因は、利益剰余金が71,157千円増加したものの、その他有価証券評価差額金が60,517千円及び自己株式の取得により34,995千円がそれぞれ減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、投資有価証券の取得による支出等により、前事業年度末に比べ598,059千円減少し、446,163千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、127,114千円（前年同期は116,256千円の増加）であります。これは主として税引前四半期純利益209,629千円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、650,865千円（前年同期は413,447千円の増加）であります。これは主として投資有価証券の取得による支出800,000千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、74,309千円（前年同期は24,958千円の減少）であります。これは主として配当金の支払による支出48,652千円及び自己株式の取得による支出35,298千円によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当社は、平成21年3月26日に業績予想の修正を発表しておりますが、来期以降を見据え、平成21年5月26日にスタートした任天堂Wiiの「出前チャンネル」及びカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との資本業務提携の成果を発現させるための戦略的な先行投資として、TVCM等とWeb販促によるメディアミックスプロモーションを実施することとしました。「出前館」の認知度アップとともに、来期以降の売り上げ拡大速度を速めるため、8月中に通常の新規会員獲得に加え140,000人以上の新規会員獲得上乗せを図ります。これによる販管費の大幅増加と、事業環境の悪化によるオーダー手数料収入の増加ペースが軟調に推移している状況等を踏まえ、通期業績見込みを修正いたします。売上高は1,060,000千円（前期比12.7%増）、経常利益は210,000千円（前期比24.1%減）、当期利益は110,000千円（前期比29.6%減）を見込んでおります。

なお、平成21年3月26日に発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

通期(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	1,120	270	320	180	3,302	51
今回修正予想(B)	1,060	160	210	110	2,031	99
増減額(B-A)	△60	△110	△110	△70	—	—
増減率(%)	△5.4	△40.7	△34.4	△38.9	—	—
前期実績	940	262	276	156	2,909	23

なお、当社は配当方針の基準を、配当性向30%としておりますが、通期計画の修正の主な要因が戦略的なプロモーション実施による販管費の大幅増加であること等を考慮し、1株当たりの配当見込みは、3月26日公表の1,100円を据え置きます。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	946,163	1,544,222
売掛金	148,836	142,220
前払費用	8,250	7,827
繰延税金資産	37,394	25,005
未収入金	—	1,073
その他	35,114	4,877
貸倒引当金	△4,833	△3,697
流動資産合計	1,170,926	1,721,529
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,004	9,389
減価償却累計額	△2,055	△1,337
建物(純額)	5,948	8,051
工具、器具及び備品	93,964	90,932
減価償却累計額	△63,237	△48,820
工具、器具及び備品(純額)	30,727	42,112
土地	139	310
有形固定資産合計	36,814	50,475
無形固定資産		
ソフトウェア	159,113	125,207
その他	7,029	11,992
無形固定資産合計	166,142	137,200
投資その他の資産		
投資有価証券	641,700	443,650
長期預金	200,000	400,000
破産更生債権等	1,981	1,079
長期前払費用	1,624	2,193
差入保証金	19,822	20,072
繰延税金資産	67,913	27,626
その他	828	1,850
貸倒引当金	△1,981	△1,079
投資その他の資産合計	931,889	895,392
固定資産合計	1,134,846	1,083,067
資産合計	2,305,772	2,804,597

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	67,251	548,179
未払費用	2,034	—
未払法人税等	39,473	85,344
未払消費税等	10,913	13,539
前受金	244	246
預り金	4,896	4,863
前受収益	2,121	723
ポイント引当金	77,276	38,265
その他	59	135
流動負債合計	204,270	691,296
負債合計	204,270	691,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,099,525	1,094,650
資本剰余金	650,625	645,750
利益剰余金	480,474	409,317
自己株式	△34,995	—
株主資本合計	2,195,629	2,149,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△96,934	△36,417
評価・換算差額等合計	△96,934	△36,417
新株予約権	2,807	—
純資産合計	2,101,502	2,113,300
負債純資産合計	2,305,772	2,804,597

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	803,422
売上原価	122,394
売上総利益	681,027
販売費及び一般管理費	510,342
営業利益	170,685
営業外収益	
受取利息	41,321
その他	620
営業外収益合計	41,941
営業外費用	
株式交付費	108
自己株式取得費用	302
その他	7
営業外費用合計	419
経常利益	212,207
特別損失	
会員権評価損	2,578
特別損失合計	2,578
税引前四半期純利益	209,629
法人税、住民税及び事業税	100,716
法人税等調整額	△11,243
法人税等合計	89,472
四半期純利益	120,156

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	209,629
減価償却費	45,293
会員権評価損	2,578
株式報酬費用	2,807
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,037
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	39,011
受取利息及び受取配当金	△41,321
株式交付費	108
自己株式取得費用	302
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,517
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,707
その他	△239
小計	260,398
利息及び配当金の受取額	11,602
法人税等の支払額	△144,886
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>127,114</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	700,000
定期預金の預入による支出	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,083
無形固定資産の取得による支出	△50,031
投資有価証券の取得による支出	△800,000
その他	250
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△650,865</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	9,641
配当金の支払額	△48,652
自己株式の取得による支出	△35,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△74,309</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△598,059
現金及び現金同等物の期首残高	1,044,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	446,163

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年10月24日開催の取締役会における自己株式（普通株式）の取得決議に基づき、自己株式540株を取得いたしました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が34,995千円増加し、当第3四半期会計期間末において、自己株式が34,995千円となっております。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約) 四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		691,611	100.0
II 売上原価		111,048	16.1
売上総利益		580,562	83.9
III 販売費及び一般管理費		373,733	54.0
営業利益		206,829	29.9
IV 営業外収益		10,754	1.6
V 営業外費用		667	0.1
経常利益		216,916	31.4
VI 特別損失		8,375	1.2
税引前四半期純利益		208,540	30.2
法人税、住民税及び事業税	87,936		
法人税等調整額	103	88,040	12.8
四半期純利益		120,500	17.4

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1. 税引前四半期純利益	208,540
2. 減価償却費	37,215
3. 貸倒引当金の増加額又は減少額(△)	1,211
4. ポイント引当金の増加額又は減少額(△)	8,606
5. 固定資産除却損	1,399
6. 受取利息	△10,689
7. 株式交付費	466
8. 売上債権の減少額又は増加額(△)	△42,679
9. 仕入債務の増加額又は減少額(△)	16,758
10. その他	1,551
小計	222,381
12. 利息の受取額	13,630
13. 法人税等の支払額	△119,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,256
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1. 定期預金の払戻しによる収入	500,000
2. 有形固定資産の取得による支出	△41,218
3. 無形固定資産の取得による支出	△49,840
4. その他	4,506
投資活動によるキャッシュ・フロー	413,447

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 株式の発行による収入	18,808
2. 配当金の支払額	△43,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,958
Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	504,745
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	431,454
Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高	936,200